

令和
7年度

仏教教育研究センター公開講座

講座1

「ともに生きる」とは —自死の活動から—

開催日 6月12日(木)
時間 13:30~15:30
場所 高田派本山専修寺 高田会館 ホール
定員 100名 **受講料** 無料
担当 中川結幾
 (高田中・高等学校非常勤講師)

現在、多くの方が自死にまつわる苦悩を抱えています。自死の苦悩を抱えた人とともに生きるとはどういうことなのでしょう。本講座では、「自死・自殺」について仏教・浄土真宗の立場から、自死の苦悩に向き合うとはどういうことなのか、京都自死・自殺相談センターでの活動の紹介を通して考えたいと思います。

受付期間:5月7日(水)~6月5日(木) ※会場で当日受付も行います。

講座2

三重の仏教福祉の源流 —明治・大正・昭和(終戦まで)—

開催日 10月8日(水)
時間 13:30~15:30
場所 高田派本山専修寺 高田会館 ホール
定員 100名 **受講料** 無料
担当 千草篤磨
 (特別養護老人ホーム報徳園園長、高田短期大学名誉教授)

日本の仏教福祉の萌芽は聖徳太子の四天王寺四箇院にまで遡りますが、現在の社会福祉事業に直接結びつく実践は、明治から大正の時期に仏教を中心に興りました。三重県では天台宗の能教海師や浄土宗の清水法隆師が仏教福祉事業の先駆けとなりました。次いで、高田派では本山が養老院を開設し、玉置諦聴師が保育事業を始めるようになります。そして、その後興った仏教による社会事業は、その多くが現在でも継続、発展してきています。三重県の仏教福祉の歴史を振り返って、当時の人々の熱い思いを学び合いたいと思います。

受付期間:5月7日(水)~10月1日(水) ※会場で当日受付も行います。

高田短期大学ホームページか官製ハガキでお申し込みいただけます。

(電話、FAXではお受けできません。問い合わせは可)

インターネット受付 <https://www.takada-jc.ac.jp/>



申込方法

【お問い合わせ先】
 高田短期大学仏教教育研究センター
 〒514-0115 津市一身田豊野195
 TEL059-232-2310
 E-mail b-center@takada-jc.ac.jp
【当日のお問い合わせ先】
 高田本山宗務院
 〒514-0114 津市一身田町2819
 TEL059-232-4171

【申込ハガキ記入例】

51140115 高田短期大学 仏教教育研究センター 公開講座係 津市一身田豊野一九五	公開講座申込書 受講講座名 氏名(ふりがな) 住所 〒 電話
---	---

